

養南新聞

発行所
社会医療法人 緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

ぎふストレスケア
クリニック
〒500-8345
岐阜市菊地町2-4-1
☎0581-274-9600

ネクステージLIGHT いよいよ入居者募集!

7月完成予定の支援アパート「ネクステージLIGHT」の入居者募集がじまじまった。
全8室で、すでにグループホーム「オレンジハイブ」からのステップアップを目指す方などで3名ほどの入居予定はあるが、まだ空室はあり、今回の入居者募集となった。



シックな外観 グリーンが映える



(上)おしゃれなカウンターキッチン (下)申し訳程度の収納スペース

リハビリの
ベースキャンフに
入居の条件としては、まずリハビリを行うことを

目的として、デイクケアなど通所施設に通う意思があることが求められる。
またグループホームとは異なるスタッフは不在であるため、ある程度の生活能力があることも条件の一つだ。ただ初めての単身生活などで不安のある方に対しては、病院から訪問看護のスタッフが緊急時などでも駆けつけられるシステムも整備されており、思い切つてチャレンジすることも可能だ。

炊飯器、電気やかんのレンタルも月額1,000円で可能とのこと。
申し込み・お問い合わせは医療相談室まで。
◆竹山医師が着任
この5月から医局に竹山成奎(なりか)医師(36)が着任した。
竹山医師は臨床研修を終えたのち、消化器内科医として3年間勤務。その後精神科の道を志し、県の精神科クリニックでの勤務を経て、このたび当院に赴任となった。
すでに外来や入院を担当しているが、甘いマスクとソフトな語り口でファンが増える。今後の活躍が期待される。



外来で微笑む竹山先生

みか丸の 病院ミシランガイド ポータブル吸引器

このたび西病棟にポータブル吸引器が導入された。ような。何で買ってもらったのの小寺係長?
「いつ何時どんなトラブルが起きるか分かりませんが、災害時の屋外や停電時にも使用でき、心強いよな。」
「バッテリー内蔵だし、シガーライターケーブルで車内での充電も可能で、車内でみかんを詰まらせても、小寺さんがすぐに助けてくれるよな。」
「僕をコードブルーの山Pと重ねるのやめて下さい。」



華奢な女性でも持ち運び可能です

◆障害者手帳で割引
令和5年4月より、養老鉄道が精神障害者保健福祉手帳を持つ方を運賃の割引対象(5割)とすることがわかった。
これまで身体や知的障害の方を対象にしていた制度だが、今回精神障害にも制度が拡充された格好だ。
養老鉄道は、養南病院を利用する人にとつてはなくてはならない足として知られている。ただ、ええ運賃高めな養老鉄道。この制度はぜひ利用したいところだ。

◆家族教室
6月18日(日)、気分障害の家族教室が開催された。薬療法について講演を行った渋谷雄太薬局長は、「長期の服薬が必要な場合が多いため、無理なく服用を続けられるような工夫が必要」と語った。



いつも助かってます

「食のこだわり」
「うなぎにしますか?」
鈴木「あれ?今度の月曜はカレーじゃないんですか?」
丸山「そうなのよ、食材費の高騰、人材不足、卵も品薄だし、献立を総点検するために一時的に井ものや麺類の頻度を見直しているの。皆さんのお楽しみなだけに苦渋の決断なんだけど」
鈴木「迫りくる世界情勢がついに養南病院にも...。このうなぎにしますか?」
丸山「豆腐...。うなぎ出しましょう!たまには元気出さないといね」
鈴木「そうなくっちゃ!さっそく注文しましょ」

◆7月の家族教室
第一部・講演
「薬と上手に付き合いましよう」
講師:渋谷雄太薬局長
第二部:グループワーク
日時:7月16日(日)
14時~16時
場所:デイクケアセンター
対象:統合失調症
患者様とご家族

◆O-T Apple Music
北2病棟では、「音楽クラブ」を実施している。これは、スクリーンに歌詞を映し出し、曲に合わせて歌ったりと音楽を楽しむ活動である。4月からApple Music(音楽ストリーミングサービス)を導入し、幅広い年齢層に合わせて、患者様のリクエストに迅速に対応できるようにした。

デイクケア

初代「悠王」に宮原先生
5月25日(木)、デイクケア最強棋士を決める大会「悠王(ゆうおう)戦」が開催された。

決勝戦は宮原先生と、メンブランク1位のOさんの対決に。対局は別室にて行われ、その様子を大スクリーンに映し、和田係長が大盤解説を行った。
勝負は序盤から解説が追い付かない程スピーディーな展開に。中盤以降は宮原先生が隙を見せない差し回しで勝利をつかみ初代悠王の座に輝いた。
なお対局中の勝負スイングには宮原先生が水羊羹をOさんがみつ豆を食べたというどうでもいい情報もたらされた。



いつでも挑戦を待っているぞ。

デイクケア

テラリウムで癒し効果
5月27日(土)、モノづく

デイクケア

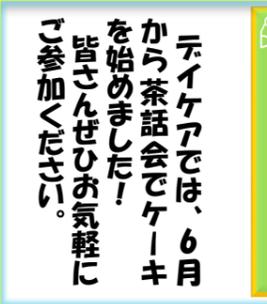
変わり「たこバ」に
大盛り上がり
6月3日(土)、1年ぶりの開催となったたこバの開催となったたこバ



スタッフ本田も作りました。癒されるでしょ♡

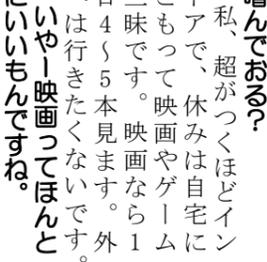
り系の企画「テラリウム」が新たなプログラムとして加わった。
テラリウムとはガラスなど光が透る密閉された容器の中で植物などを育てる方法の事。植物を身近に置くことでストレスホルモンの減少や、副交感神経の活動が期待できるという。
参加者らは様々な小物を使用し、思い思いの空間をガラス容器の小宇宙に創り上げていた。
作って癒され、見て癒され。今後もこのテラリウム季節ごとに行われる予定。一度参加してみては。

◆YFC活動報告
多くの釣り人を魅了してやまないブラックバス。今回はその聖地、琵琶湖での釣行をレポートする。「バス釣りは推理ゲームだ。釣竿、リール、ルアーそれぞれが他の釣りとは比べ物にならないほど多く、その組合せは無限。季節、天候、地形、毎日変わる自然条件に合わせ正解のパターンを探るのは、様々な手がかりから真犯人を見つけ出すようなもの」と話すのは西病棟の佐藤廉さん。彼はコナンのファンでもある。



見た目は子ども。中身は34歳。真実はいつも一つ!

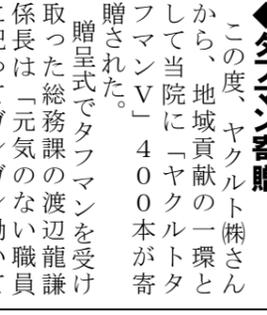
◆スイーツ男子ひとし君
院内屈指のスイーツ好き(四月から南病棟)の齊君は、週に一度はひいきのお店に出向き、推しの子達を堪能する。今回の推しは「たいやきわらしべ」の鯛焼き。中でもおすすめはノーマルなつぶ餡だが、季節限定の「桜



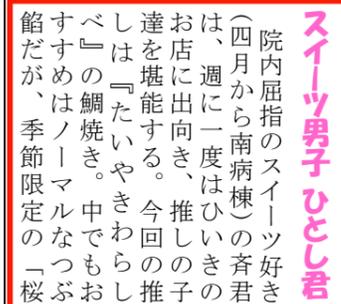
◆タフマン寄贈
この度、ヤクルト株式会社から、地域貢献の一環として当院に「ヤクルトタフマンV」400本が寄贈された。
贈呈式でタフマンを受け取った総務課の渡辺龍謙係長は「元気のない職員に配ってガンガン働いてもらいます」とパワハラストレスに話した。



◆家族教室
6月18日(日)、気分障害の家族教室が開催された。薬療法について講演を行った渋谷雄太薬局長は、「長期の服薬が必要な場合が多いため、無理なく服用を続けられるような工夫が必要」と語った。



「副作用があった時は主治医に相談を!」



次回(9月号)は令和5年9月号になります。